

福岡市美術館平成 27 年度事業報告について

1 展覧会の開催

(1) 特別企画展

	展覧会名	会期	開催日数	出品点数	観覧者数	共催
①	アンコールワットへのみち 神々の彫像	4月28日～ 6月14日	42日	116点	22,151人	TVQ九州放送 西日本新聞社
②	肉筆浮世絵の世界	8月8日～ 9月20日	37日	170点	48,242人	西日本新聞社 テレビ西日本
③	藤田美術館の至宝 国宝 曜変天目茶碗 と日本の美	10月6日～ 11月23日	43日	約130点	32,072人	朝日新聞社 九州朝日放送
④	マルモッタン・モネ 美術館所蔵 モネ展	12月22日 ～平成28年2月 21日	52日	90点	208,994 人	FBS福岡放送 読売新聞社

①アンコールワットへのみち 神々の彫像（担当：後藤主任学芸主事）

9～15世紀にかけて現在のカンボジア領域を中心に強大な勢力を誇ったアンコール王朝は、世界遺産アンコールワットに代表される豪壮華麗なヒンドゥー教、仏教の石造美術を各地に残した。この展覧会では、小国が乱立したプレ・アンコール時代(8世紀以前)から、アンコール王朝が成立して以降の時代をつぶさに網羅したヒンドゥー教、仏教の丸彫り像群を展覧し、アンコール彫刻の造形美の変遷をたどり、東南アジア史上に燦然(さんぜん)と輝くアンコールワット美術の成立過程を辿った。またアンコール王朝の盛期にあたる11～13世紀に現在のミャンマー領域のほぼ全域に君臨したパガン王朝や、パガン王朝に先立つ6～11世紀頃にかけて現在のタイ領域を中心に繁栄した仏教大国ドヴァーラヴァティー国の石造美術なども展示し、インドシナ半島における豊かな宗教彫刻の世界を紹介した。

〈関連企画〉

	事業名	開催日	講師	参加者数
1	講演会① 「クメール彫像の時代と形の変遷」	5月16日	島津法樹氏 (東南アジア美術研究家)	180人
2	講演会② つきなみ講座 「アンコール時代の遺跡と美術」	5月23日	後藤 恒 (主任学芸主事)	50人

②肉筆浮世絵の世界（担当：中山副館長・吉田学芸員）

浮世絵師の多くが、木版画である「錦絵」ばかりでなく筆で描いた「肉筆浮世絵」を制作したことは、あまり知られていない。本展では、鈴木春信、喜多川歌麿、葛飾北斎など 200 年にわたる浮世絵の歴史を代表する 67 人の浮世絵師たちによる作品と、浮世絵誕生前夜の無款の作品とを合わせて約 160 点の「肉筆浮世絵」を展示し、その魅力を総合的に紹介。また会場内に「春画展示室」を設け、浮世絵の重要な一部を成した春画の名品を展示。

〈関連企画〉

	事業名	開催日	講師	参加者数
1	特別講演会① 「肉筆浮世絵の魅力」	8月8日	小林忠氏（国際浮世絵学会会長，岡田美術館館長）	147人
2	特別講演会② 「浮世絵春画の面白さと特色」	8月15日	早川門多氏（国際日本文化研究センター元教授）	195人
3	特別講演会③ 「美人という夢」	8月22日	河野元昭氏（京都美術工芸大学学長，秋田県立近代美術館館長）	212人
4	「ふじみんと行く 粋な☆女子トーク企画！夜の美術館「浴衣de春画鑑賞ツアー」」	8月12日	中山副館長，吉田学芸員，藤見里紗氏（NPO法人マドレボニータ）	24人
5	「大人女子のための〈春画卷物〉鑑賞セミナー 愛こそすべて」	8月16日	植野かおり氏（立花家資料館館長）	
6	レディースナイト	8月16日	吉田学芸員	321人
7	メンズナイト	8月23日	中山副館長	111人
8	レディースナイト2	9月8日	吉田学芸員	190人
9	特別講演会④「歌麿新発見作品をめぐって」	9月12日	石田泰弘氏（本展監修者，国際浮世絵学会理事）	33人

③藤田美術館の至宝 国宝 曜変天目茶碗と日本の美（担当：岩永学芸課長）

明治・大正期にかけて大阪の旧男爵・藤田傳三郎氏と、長男平太郎、次男徳次郎両氏の2代3人によって収集された名品を公開するため、1954（昭和29）年に開館した藤田美術館は、多彩な東洋美術を所蔵する国内トップクラスの美術館である。2000件を超える収蔵品は、仏教美術、絵巻、水墨画、近世絵画、書蹟、陶磁器、彫刻、漆工、金工、染織、考古資料など多岐にわたり、うち9件が国宝、51件が重要文化財に指定されている。なかでも、茶道美術品は全国的に有名で、特に「曜変天目茶碗（国宝）」は、世界に3碗しか現存しないといわれている天目茶碗の最高傑作の一つである。

本展覧会では、この「曜変天目茶碗」をはじめとする茶道具を中心に、陶磁器、仏教美術、書蹟、近世絵画などの名品をそろえて展観。古美術に対する社会の理解や関心が薄れていた当時、こうした名品の海外流出を防ぐため、収集に情熱を傾けた藤田傳三郎氏らの情熱、心意気を展示作品から感じていただき、日本屈指の東洋・日本美術コレクションを誇る藤田美術館の至宝の数々を一堂に公開する初めての機会であった。

〈関連企画〉

■イベント

事業名	会期	会場
「藤田美術館の至宝 三好和義写真展」	9月24日～29日	朝日さんさん広場 （リバーウォーク 北九州4階）

■講演会等

	事業名	開催日	講師	参加者数
1	講演会 「曜変天目の青に宇宙を見た」	10月18日	三好和義氏（写真家）	180人
2	座談会 「藤田コレクションの成立と その魅力」	11月1日	藤田清氏 （藤田美術館館長） 出川哲朗氏（大阪市立 東洋陶磁美術館館長）	246人

④マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展（担当：渡抜学芸員）

印象派の巨匠として、日本でも絶大な人気を誇るクロード・モネ（1840-1926）。本展はマルモッタン・モネ美術館所蔵作品の中から、最大の名作といわれる《印象、日の出》をはじめとして、《サン・ラザール駅》、《睡蓮》など約90点を公開。モネが最期まで手元に置いたプライベート・コレクションも今回展示され、まさにマルモッタン・モネ美術館にしか出来ない究極のモネ展である。

〈関連企画〉

	事業名	開催日	講師	参加者数
1	記念講演会① 「印象派ー西洋美術を変えた画家たち	平成28年 1月16日	三浦篤氏（東京大学教授）	168人
2	記念講演会② 「世界で一番幸福な場所ージヴェルニー訪問 モネの光を求めてー」	平成28年 1月24日	原田マハ氏（作家）	140人
3	記念講演会③ 「《印象、日の出》の真実」	平成28年 2月4日	マリアンヌ・マチュー氏（本展監修者、マルモッタン・モネ美術館副館長）	242人

（2）常設企画展

	展覧会名	開催期間	開催日数	出品点数	観覧者数
1	九州派展	10月28日～平成 28年1月17日	65日	66点	21,356人

まもなく結成から60年を迎えようとする。福岡発／初の前衛美術グループ「九州派」。1950年代から60年代にかけて、大衆運動の盛り上がりを背景に、前衛美術を生活者の視点から捉え直そうとした、全国的に見てもまれなこのグループの活動とその作品を、所蔵品を中心に66点で紹介。福岡市美術館叢書6「九州派大全」（福岡市文化芸術振興財団発行）も刊行した。

〈関連企画〉

	事業名	開催日	講師	参加者数
1	記念講演会「アンパンと焼酎」	11月7日	成相肇氏（東京ステーションギャラリー学芸員）	18人

(3) 常設展

①近現代美術

* () 内は担当学芸員

展覧会名	開催場所	期間	内容
TRACES 轍－近現代美術コレクション形成のあゆみをたどる (正路学芸員)	近現代美術室	6月21日～平成28年8月31日	当館の代表的な所蔵作品による展示。リニューアル休館を見据え、収集の歴史を振り返るべく作品を収集年順に展示。
和田三造展 (吉田学芸員)	日本画工芸室	4月14日～6月7日	和田三造(1883-1967)が博多帝国ホテルの大広間に合わせて制作した大作《博多繁昌の図》,《西都政庁の図》(1958年)の習作を展示。22点。
西本コレクション展－畦地梅太郎と山男－ (渡抜学芸員)	小作品室		畦地梅太郎(1902-1999)は、上京して内閣印刷局に勤務する傍ら制作活動を行った。西本コレクションの中から「山男」をテーマに紹介。18点。
集積 Accumulation (正路学芸員)	企画展示室		寄せ集め、積み重ねる行為・作品は現代美術の特徴のひとつともいえる。「集積」をキーワードに、所蔵作品を展示。18点。
新収蔵品展 (渡抜学芸員)	小作品室		2014年度に当館が新たに収蔵した近現代美術作品をお披露目。16点。
彫刻／人形 (山口学芸係長)	企画展示室	6月16日～8月23日	《嬉野弁財天》を中心に、山崎朝雲など当館所蔵品、福岡の現代作家からの借用作品により、「彫刻」と「人形」の境界を問う。25点。
吉田博展－画家・夫・父として－ (渡抜学芸員)	日本画工芸室	8月25日～10月25日	福岡県久留米出身の画家、吉田博(1876-1950)の家族も画家として活躍。「吉田家」の人々とその作品を展示。24点。
靨嘔 虹のエロス (吉田学芸員)	小作品室		靨嘔(1931-)の「虹」のアート。エロティックなモチーフによる版画作品を展示。21点。

中村研一展 (正路学芸員)	企画 展示室	8月25日～ 10月25日	福岡県宗像市出身の中村研一(1895-1967)の戦後に描かれた作品を中心に展示。26点。
藤野一友展 (正路学芸員)	小作品室	平成28年1月19 日～4月10日	幻想画家・藤野一友(1928-1980)の作品・資料から小品を中心に展示。32点。
鉄の美術 (吉田学芸員)	企画 展示室		「鉄」を表現した作品、また「鉄」を用いた作品を紹介。横山操《熔鋳炉》を中心に展示。23点。
冬のおとなミュージアム「秘密-かくす・のぞく・あばく」 (鬼本主任学芸主事)	日本画 工芸室	平成28年1月19 日～2月28日	福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館の3館連携展第2段。テーマは「秘密」。この展示では、「かくす」をキーワードに、作者が作品の中に忍ばせた秘密や、その制作の秘密ににせまった。17点を展示。
日本画名品展 (山口学芸係長)	日本画 工芸室	平成28年3月1 日～4月10日	横山大観、橋本関雪、富田溪仙、堅山南風の名品を所蔵作品、寄託作品より展示。4点。

②古美術

* () 内は担当学芸員

展覧会名	開催場所	期間	内容
東光院の仏教美術 (後藤学芸員)	東光院仏 教美術室	4月14日～ 平成28年4月 10日	旧福岡藩主黒田家の菩提寺のひとつであった薬王蜜寺東光院から寄贈された重要文化財を含む仏像を常時展示。木造薬師如来立像(平安時代)など。
インドネシアの染織- バティックの楽しみ- (岩永学芸課長)	古美術企 画展示室	4月14日～6月 7日	染織大国インドネシアを代表するバティック(ジャワ更紗)をバラエティ豊かに紹介。
春の名品展 (後藤主任学芸主事)	松永記念 館室		《春日社寺曼荼羅図》、《志野あやめ絵鉢》など、春から初夏にふさわしい名品。
新収蔵品展 (後藤主任学芸主事)	古美術企 画展示室	6月16日～8月 9日	伊万里、柿右衛門様式、鍋島などの華麗な九州古陶磁の器や、東アフリカの民族衣装カンガなど。

田中丸コレクション (後藤主任学芸主事)		6月 16 日～11 月 29 日	九州の主要な窯を網羅する近世陶器の名品を展示。
大名の茶 (岩永学芸課長)	松永記念 館室	6月 16 日～8月 9日	茶をよくした大名として名高い、古田織部、小堀遠州、片桐石州ゆかりの作品や、大名家旧蔵の名品を中心に展示。
本多コレクション展 (後藤主任学芸主事)	古美術企 画展示室	8月 11 日～9月 27 日	インドシナ半島古陶磁の一大コレクションとして知られる本多コレクションから交趾焼、ミャンマー漆器を中心に展示。
仏と美 (後藤主任学芸主事)	松永記念 館室	9月 29 日～11 月 30 日	松永コレクションに含まれる仏教美術から厳選した彫刻、工芸の名品を展示。
七色の煌き一螺鈿 (後藤主任学芸主事)	古美術企 画展示室		日本(中近世)、琉球王国、中国元・明朝、朝鮮王朝の各時代の螺鈿漆器を紹介。
秋の名品展 (岩永学芸課長)	松永記念 館室	9月 29 日～11 月 30 日	特別展「国宝 曜変天目茶碗と日本の美 藤田美術館の至宝」の開催にあわせて、関連する名品を展観。
仙厓展 (宮田学芸員)	古美術企 画展示室	12 月 1 日～平成 28 年1月 31 日	当館所蔵の仙厓の代表的な作品を、仙厓の画風の変遷に沿って展示。
茶道具と包裂 (岩永学芸課長)	松永記念 館室	12 月 1 日～平成 28 年1月 31 日	茶道具を包む布に焦点をあて、当初松永コレクションの茶道具を包んでいた更紗などを展示。
アート×アニマル 美 Zoo 術館 (神保学芸員)	古美術企 画展示室	平成 28 年 2 月 2 日～4 月 10 日	仏涅槃図をはじめとする東光院の仏画を数点、コーナー展示にて紹介。
耳庵のつぶやき (後藤主任学芸主事)	松永記念 館室	平成 28 年 2 月 2 日～4 月 10 日	耳庵翁が著述等の中で言及した作品に焦点をあて、翁の言葉とともに展示。

(4) 公募展

第 50 回福岡市美術展 平成 28 年 3 月 8 日～3 月 21 日

- ・ 出品点数 1,106 点, 入賞入選点数 604 点, 入場者数 4,499 人
- ・ 毎年開催する福岡市民を中心とする公募展
- ・ 入選作品を前期, 後期に分けて展示
- ・ 日本画, 洋画, 彫刻, 工芸, 書, 写真, デザインの 7 部門について一般公募
- ・ 審査員によるギャラリートーク (解説, 講評) を実施
- ・ 第 50 回記念事業を実施

ネクスト新人賞の創設 … 若年者 (H27 年度末で 25 歳未満) を対象 各部門 1 名

記念講演会の実施 … 作家嵐山光三郎氏による

記念図録の発行 … 第 1 回～第 49 回までの入賞者, 特別賞作品を掲載

一口メッセージ … 福岡市美術展, 美術への想いを 18 文字で表現したメッセージを募集し記念事業の資金集めとともに福岡市美術展の広報, 告知の一環とした。

(5) 展覧会の観覧者状況

(単位: 人)

区 分	常設展	特別企画展		貸会場展		合 計	
		展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数
26 年度	(213) 65,290	4	(410) 54,494	182	(201) 225,215	186	(1,127) 344,999
27 年度	(296) 90,896	4	(1,790) 311,459	170	(201) 207,121	174	(1,985) 609,476
過去 10 年 間の平均	(252) 74,976	4	(1,102) 157,156	181	(241) 268,313	186	(1,679) 500,446

開館以来 累計	(266) 2,920,200	125	(1,263) 4,956,711	6,826	(367) 15,826,195	6,951	(2,160) 23,703,106
------------	--------------------	-----	----------------------	-------	---------------------	-------	-----------------------

※ () は, 常設展・特別企画展・貸会場展は開催日 1 日あたり,
合計は開館日 1 日あたりの観覧者数

2 美術品の収集

(1) 新規収集

①購入

彫刻《無題》(金子潤)

②寄贈

(ア) 近現代美術 46 点 (油彩, 日本画, 水彩, 彫刻, その他)

郷土関連の近現代美術家の作品の寄贈を受けた。

・主な作品：彫刻《粧》(富永朝堂)

彫刻《シスターボーイ》外 1 件 (木塚忠広)

油彩《絵画 III》外 1 件 (酒井忠臣)

油彩《青春 8 - 風景》外 1 件 (宇田川宣人)

日本画《室の中に》(上田勝也)

油彩《富士山のための広告》外 2 件 (オチオサム)

版画《懺悔の夢景》外 33 件 (渡辺千尋)

その他《(パフォーマンス「ピアノを打つ (ピアノ狂詩曲)」で使用された鞭)》(風倉匠)

(イ) 古美術 55 件 (染織, その他)

本年度は、シンガポールのリー家より多数のプラナカン衣装が寄贈された。プラナカン (Peranakan) とは、東南アジアにわたり、現地の女性と結婚して定住した中国からの移民の子孫を指す。その文化を象徴するのがクバヤと呼ばれるブラウス風の上衣とサロンと呼ばれるバティックの腰衣を組み合わせたプラナカン女性のファッションである。これらの寄贈品には「サロンクバヤ：シンガポール 麗しのスタイル」(古美術企画展示室・松永記念館室，平成 28 年 4 月 17 日～6 月 12 日) の出品作品も含まれ、今後も当館のバティック作品と組み合わせるなど幅広い展示活用が見込まれる。

・主な作品：赤地花唐草文様インド更紗上衣 使用地：インドネシア 18 世紀
花幾何学文様長上衣 使用地：シンガポール他 19-20 世紀

(2) 福岡市文化芸術振興財団からの買戻し (購入)

- ・油彩《Nessi Has Company II》(ジグマール・ポルケ)
- ・写真《株主総会》(アンドレアス・グルスキー)
- ・陶磁《色絵梅樹人物文六角壺 共蓋》

3 教育普及事業

(1) 夏休みこども美術館 2015「きるものをみる」(担当:土橋囑託学芸員)

1990年以來ほぼ毎年テーマを設けて開催している子ども向け企画。平成27年度は、「きるものをみる」をテーマに、展示とワークシートを使用した鑑賞活動をしてもらった。その他、ボランティアによるギャラリートーク、ワークショップを実施。

〈実施内容〉

	事業名	開催期間	開催日数	内容	参加者数
1	こどもギャラリー 「きるものをみる」	6月16日～ 8月23日	60日	「きるもの」をテーマに作品を展示。鑑賞の補助としてワークシートを設置	—
2	ワークショップ 美術館の制服をつくろう!	7月22日	1日	館内で働く人に取材をした後、身近にある素材で制服を作る	12名 (事前応募制)
3	ワークショップ かぶるものをつくろう!	8月11日	1日	作品を鑑賞した後、自分自身のかぶるものを作る	23名 (事前応募制)
4	ギャラリートーク for キッズ夏休み特別版	7月18日～ 8月23日	32日	ボランティアによる子ども向けギャラリートーク	74人

(2) 美 Zoo 術館 アート×アニマル(担当:崎田学芸員)

2013年に当館で開催した常設展「美術館で Zoo」の継続企画。当館のコレクションから動物をモチーフにした作品を選び展示した。今回は九州大学総合研究博物館の協力を得て、動物(イタチ、テン、キツネ、サル)の剥製と一緒に展示することができた。自然史学的な視点をもって、美術作品に描かれた動物を鑑賞/観察し、利用者に新たな楽しみを提供することが、本展のねらいの一つであった。

また、展覧会の関連イベントを通じ、春休みに未就学児、小学生および保護者向けの教育普及活動を行うことで、家族で美術館へ来館するきっかけとなる機会を提供した。

〈実施内容〉

	事業名		開催期間	開催日数	講師	参加者数
1	「美 Zoo 術館 アート×アニマル」展覧会		平成 28 年 2 月 2 日～4 月 10 日	60 日	—	—
2	春休み！ アニマル アートの 2 日間	ミニミニワ ークショッ プ「どうぶつ のなかまを つくろう」	平成 28 年 3 月 29 日～30 日	2 日	—	163 人
		ぬってみよ う！どうぶ つの色			—	188 人
		自分のしっ ぽをつくら う！			崎田学芸員	28 人

(3) こどもアートアドベンチャー（担当：土橋囑託学芸員）

子どもたちと美術・美術館とのよりよい出会いの場を提供することを目的に、平成 9 年から展開している市内の小・中学校を対象とした教育普及活動。現在は、主に展示室でのボランティアによる対話型ギャラリートーク、スクールツアーを実施している。

* () 内は市内の内数

種別	件数	学生	引率
大学	0 件 (0)	0 人 (0)	0 人 (0)
高校	2 件 (1)	128 人 (83)	5 人 (3)
中学校	13 件 (9)	1,059 人 (792)	80 人 (57)
小学校	26 件 (20)	1,756 人 (1,440)	94 人 (72)
未就学	1 件 (1)	51 人 (51)	5 人 (5)
計	42 件 (31)	2,994 人 (2,366)	184 人 (137)

(4) 講座

①つきなみ講座

美術館の仕事と美術のさまざまな側面を知ってもらうため、月1回、美術館職員が自身の研究・業務内容、特定のテーマ等について講座を行った。

〈実施内容〉

	開催日	テーマ	担当	参加者数
1	4月25日	これぞゆるキャラ！ 畦地梅太郎と山男	渡抜学芸員	11人
2	5月23日	アンコール時代の遺跡と美術	後藤主任 学芸主事	50人
3	6月20日	日本人と肖像画	錦織館長	20人
4	7月25日	大人も楽しめる！？夏休みこども美術館 2015	土橋囑託 学芸員	12人
5	8月29日	続・美術とフェミニズム	正路学芸員	12人
6	9月19日	浮世（絵）はたのし	中山副館長	56人
7	10月31日	九州派とはなにか？その全貌にせまる	山口 学芸係長	83人
8	11月21日	春画展示を回顧する	吉田学芸員	32人
9	12月5日	茶人の愉しみ - 茶道具と包裂	岩永学芸課 長	39人
10	1月30日	仙厓にまつわる2つの肖像	宮田学芸員	15人
11	2月27日	「秘密展」を楽しむ～これであなたもミュージアム探偵？	鬼本主任 学芸主事	15人
12	3月5日	コレクション展入門：「美 Zoo 術館」展で動物をみる！	神保学芸員	18人

いずれも土曜日、14:00～15:30 教養講座室にて実施。

②いきヨウヨウ講座（担当：ギャレット三宅囑託員）

60歳以上を対象としたシニア向け講座で、これまであまり美術館が対象としてこなかったこの世代に、美術および美術館に対して造詣を深めてもらい、心の充実感を実感してもらう美術教育活動。平成26年度からシリーズ化した。

・第3回 「きもちの樹をつくる」

【開催日】平成28年3月12日

【参加者数】18名

(5) ファミリーDAY

平成 25 年度より実施している教育プログラム。若い世代のファミリーに向け、開館記念日の周知と、家族で体験する美術・美術館の楽しさ、面白さを知ってもらうために、開館記念日を含む 3 日間をファミリーDAY とし、館内のあちこちで同時にワークショップなどを実施した。なお、実施に当たっては、博物館実習生および当館ボランティアがスタッフとして活動し、さらに平成 27 年度は福岡教育大学の学生もボランティアスタッフとして活動した。

【開催期間】 10 月 31 日 (土) , 11 月 1 日 (日) , 11 月 3 日 (火・祝) 10:00~15:00

【参加者数】 延べ 821 人

〈実施内容〉

	事業名	開催日	講師	内容
1	ミニミニワークショップ	期間中毎日	オーギカナエ氏 (アーティスト)	未就学児童を対象としたワークショップ。
2	ぬってみよう！ どんな色？	期間中毎日	—	当館の作品を対象とした塗り絵。
3	キミは名探偵！ 美術館の謎をときあかせ	期間中毎日	—	ワークシートを使った作品鑑賞トレイル。
4	色であそぼう！	10 月 31 日	鬼本主任 学芸主事	色水をつくり、じょうろやドレッシングボトル、きりふきを使って大きな画面にさまざまな形を描き出す。未就学児童対象。
5	絵からとびだす物語	11 月 1 日	ボランティア	作品を見ながら、物語をつくり、演劇仕立てで発表。当館ボランティアが企画。
6	らでんキラキラアート	11 月 1 日	佐土嶋洋佳氏 (アーティスト)	展示している螺鈿作品を鑑賞後、CD 片を使って、螺鈿のようにキラキラ光る作品を制作。
7	かけじくをつくらう！	11 月 3 日	鬼本主任 学芸主事	展示室で掛け軸作品を鑑賞後、ミニ掛け軸を制作。

(6) ボランティア活動

当館では、平成 27 年 3 月末時点で 146 人のボランティアが登録し、「新聞情報」、
「図書整理」、「美術家情報整理」、「ギャラリーガイド」の 4 つのグループに分か
れて、週 1 回程度、美術館で活動をしている。

①活動内容

	事業名	人数	内容	担当
1	新聞情報 ボランティア	44 人	新聞掲載の美術関連記事の切り抜 き、ファイル作業など	後藤学芸主事
2	図書整理 ボランティア	21 人	美術館蔵書の整理、データ入力な ど	中務嘱託司書
3	美術家情報整理 ボランティア	14 人	美術館に届く展覧会案内状の分 類、整理、データ入力など	吉田学芸員
4	ギャラリーガイド ボランティア	67 人	一般来館者・学校団体への常設展 示作品の紹介	教育普及係

②共通活動

- ・夏休み子ども美術館およびファミリーDAY、「美 Zoo 術館」展イベントのサポート
- ・ボランティア総会（5 月 11 日）会場：福岡市美術館講堂
- ・館外見学研修（6 月 13 日）
研修先①田川市石炭・歴史博物館②田川市美術館③嘉麻市織田廣喜美術館

4 第 6 回福岡ミュージアムウィーク

博物館・美術館の役割を広く多くの方々に知ってもらうために制定された「国際博
物館の日」（5 月 18 日）を記念して、福岡市博物館・福岡市美術館・福岡アジア美術
館・福岡県立美術館等 13 施設が連携し、様々なイベントを通じて「出会いの場」、「知
識の場」、「発見の場」である博物館・美術館をアピールした。

【開催期間】 5 月 16 日～24 日（9 日間）

(1) 共通事業

- ①期間中の常設展観覧料無料
- ②スタンプラリー

(2) 福岡市美術館事業

	事業名	開催期間	講師	参加者数
1	講演会「大仏師 松本明慶が語る仏像彫刻」	5月24日	松本明慶氏 (大仏師)	162人
2	つきなみ講座	5月23日	後藤主任学芸主事	50人
3	キッズコーナー ミニミニワークショップ	5月19日 ～22日	オーギカナエ氏 (アーティスト)	112人
4	建築ツアー	5月16日 17日	山下主査 (美術館大規模改修担当) 鬼本主任学芸主事	68人
5	ハイライトツアー	5月16日 ～24日 (休館日を除く)	ボランティア	146人

5 読書室

読書室では、美術に関する書籍や全集、こども向けの美術書など約 3,000 冊、国内外の美術雑誌を 30 数種類配架し、また当館開催の特別展・常設展に関する資料の特集を常時行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及啓蒙活動を行った。

平成 27 年度利用者数：5,502 人（開館日数 307 日、一日平均利用者数 17 人）

6 紀要

職員の研究、調査成果を発表、蓄積することを目的に『福岡市美術館紀要第 4 号』を発行した。

〈執筆内容〉

	内容	執筆者
1	新発見：喜多川歌麿筆《花魁と禿囚》の不思議	石田泰弘氏(国際浮世絵学会理事) ※外部寄稿
2	福岡市美術館のボランティア活動についての一試論	鬼本主任学芸主事

3	【報告文】大黒愛子《無題》調査・保存修復処置報告ー描画面と余白の境界線，残された鉛筆の跡ー	渡抜学芸員
4	【資料紹介】満州の甲斐巳八郎 雑誌『協和』掲載挿絵・執筆記事①	中山副館長
5	『福岡市美術館叢書6 九州派大全』補遺	山口学芸係長

7 冬のおとなミュージアム

平成26年度より実施している3館連携企画。3館のコレクションを活用した企画展を効果的にアピールし，より多くの市民にコレクションを観覧してもらうため，統一テーマの展覧会を開催した。平成27年度のテーマは「秘密ーかくす・のぞく・あばく」。美術館では「秘密ーかくす」をメインテーマに展示を行った。

〈実施内容〉（美術館に関するもののみ）

	事業名	開催期間	開催日数	講師	参加者数
1	「秘密ーかくす・のぞく・あばく」	平成28年1月19日～2月28日	36日	—	—
2	ミュージアム探偵の事件簿ー消えた少女の秘密ー（3館共通クイズラリー）	平成28年1月19日～2月14日	24日	—	—
3	『ひみつ』のリレートーク	平成28年2月6日	1日	鬼本主任学芸主事，杉山主任学芸主事（博物館）	15人
4	『ひみつ』の3館めぐり	平成28年1月23日（土）	1日	鬼本主任学芸主事，杉山主任学芸主事，中尾学芸員（アジア美術館），平井係長（文化振興課）	20人

8 共催事業

(1) 大濠アートプロジェクト

主催：九州大学芸術工学部（片山雅史研究室）

協力：「声明の会・千年の聲」事務局 NPO 法人魁文舎，天涯庵

「九州大学社会連携事業」として開催。継続予定。「伝統と革新」をテーマに，アートを通し新しい価値や可能性に触れ，想像力を刺激する場となることを目指し，人と人，街と人を繋ぐ活動を展開することを目的とした。講演会とワークショップを4回にわたり開催。会場は，講堂と教養講座室。

	事業名	開催日	講師	参加人数
1	「祈りと表現」(声明の講演とワークショップ)	11月15日	新井弘順氏，戸部憲海氏（いずれも「声明の会・千年の聲」迦陵頻伽声明研究会）	150人
2	「反芸術／漆黒九州から（対談）」	12月5日	菊畑茂久馬氏，田中千智氏（いずれも画家）	200人
3	「前衛と日本美」（講演会とワークショップ）	12月12日	松谷武判氏（画家）	180人
4	「伝統と個性」（講演会）	12月19日	八代 清水六兵衛氏（陶芸家）	150人

福岡アジア美術館平成 27 年度事業報告について

1 展覧会の開催

(1) 特別企画展

	展 覧 会 名	会期	開催日数	出品点数	観覧者数	共 催
①	おいでよ！ 絵本ミュージアム 2015	7月24日～ 8月20日	28日	—	50,351人	西日本新聞社 テレビ西日本 NPO 法人子ども文化コミュニ ティ
②	日韓近代美術家の まなざし—『朝鮮』 で描く	12月17日 ～ 2月2日	36日	200点	3,766人	読売新聞社 美術館連絡協議会 株式会社福岡放送

① おいでよ！絵本ミュージアム2015 (担当：ラワンチャイコン収集展示係長)

福岡の夏の定番企画「おいでよ！絵本ミュージアム」シリーズの第9回目。四季を感じさせる絵本的空間のなかで、「つながる・ひろがる」をテーマにした絵本約1000冊と原画を展示。彫刻ラウンジやホールなどではワークショップやイベントを連日展開した。

② 日韓近代美術家のまなざし—『朝鮮』で描く (担当：ラワンチャイコン収集展示係長)

日韓国交正常化50周年事業として開催した展覧会で、20世紀前半の日本と韓国の美術を総合的に紹介した初めての企画。日本による朝鮮半島の統治という社会的矛盾に満ちた「近代」において、日韓両国の美術家たちが、自らをとりまく世界の限界や苦難、葛藤を抱えながらも、それを越えようとするまなざしをもち、豊かな表現活動を行った軌跡を追った。

神奈川県立美術館、新潟県立万代島美術館、岐阜県美術館、北海道立近代美術館、都城市立美術館との共同企画によるもので、2015年度に美術館連絡協議会より他巡回館とともに「美連協大賞」を受賞した。

(2) 常設企画展

展 覧 会 名	会期	開催日数	出品点数
イマジン—争いのない世界へ 担当：ラワンチャイコン収集展示係長	6月11日～ 9月1日	76日	31点

太平洋戦争の終結 70 年を記念した展覧会で、美術作品を通してアジアの戦争と美術の関わりについて考えた。具体的には、日本がアジア諸地域へ侵攻する形で始まった戦争から、20 世紀のアジア各地で起こった独立戦争や、民族・宗教・思想上の対立による紛争、いまでも頻発するテロまで、様々な争いへの応答として作られた作品 31 点を展示。戦いの記録だけでなく、戦時下の日常、戦後の風景や新たな問題、そして戦争についての批評や反戦の思いなどを表現の上にたどった。

(3) コレクション展

<p>わたしの村をめぐる物語 担当：ラワンチャイクン収集展示係長</p>	<p>2月26日(木)～ 5月26日(火)</p>	<p>村の暮らしや故郷を題材とした作品を紹介。ノスタルジックな風景から、自ら生活する村のかかえる問題を取りあげたものまで、作家の眼を通して近代化・都市化の中で変わりゆく村を描いた12点。</p>
<p>うるわしきイスラーム・スタイル 担当：五十嵐学芸員</p>	<p>3月26日(木)～ 5月26日(火)</p>	<p>イスラーム美術の装飾性を生かした作品やイスラーム社会が抱える問題をテーマとした作品の中から、多様な表現を紹介した。出品数18点。</p>
<p>一粒の希望 —土地は誰のもの?! 担当：中尾学芸員</p>	<p>9月3日(木)～ 12月15日(火)</p>	<p>1998年にインドネシアで結成されたグループ、タリン・パディによる木版画を中心に、社会的メッセージの強い作品を通して、グローバル化に曝された民衆と土地をめぐる問題について考えた。出品数25点。</p>
<p>フシギ?の世界 —ここではないどこかへ 担当：五十嵐学芸員</p>	<p>9月3日(木)～ 12月15日(火)</p>	<p>夏の特別展「絵本ミュージアム」と連動した企画。子どもの客層に合わせ、奇妙な空間を表現した作品など、視覚にうったえる作品を紹介した。出品数20点。</p>
<p>冬のおとなミュージアム 秘密—かくす・のぞく・あばく 担当：中尾学芸員</p>	<p>12月17日(木)～ 4月19日(火)</p>	<p>三館連携企画の2回目。今年のテーマは「秘密—かくす・のぞく・あばく」。当館では「のぞく」を入口に、秘密の怖さを想起させる作品など3つのテーマに分けて紹介した。出品数15点。</p>

韓国アート 1965-2015 担当：柏尾囁託員	12月17日（木）～ 4月19日（火）	日韓国交正常化 50 周年を記念し、アジアでも早くから現代的な表現が展開した韓国の選りすぐりの作品を紹介。出品数 24 点。
-----------------------------	------------------------	--

(4) 展覧会の観覧者状況

(単位：展，件，人)

区 分	常設展	特別企画展		貸会場展		合 計		あじびホール	
		展覧 会数	観覧者数	展覧 会数	観覧者数	展覧 会数	観覧者数	件数	入場者数
26 年度	(184) 39,412		(632) 61,915		(369) 141,305		(842) 242,632	113	9,698
27 年度	(165) 49,477		(846) 54,117		(337) 186,158		(932) 289,752	135	11,361
過去 10 年 間の平均	(172) 49,919		(746) 82,010		(264) 123,939		(839) 255,868	124	11,594

開館以来 集計	(170) 818,378		(715) 1,509,495		(270) 1,880,248		(820) 4,208,121	1,828	173,887
------------	--------------------	--	----------------------	--	----------------------	--	----------------------	-------	---------

* () は，常設展・特別企画展・貸会場展は開催日 1 日あたり，合計は開館日 1 日あたりの観覧者数

2 美術交流事業

(1) 美術作家招聘事業

① アンジー・シア（シンガポール）滞在期間：5月20日～7月28日

主な活動内容

- ・作品制作：中学生13人と「日常アンサンブル」を結成し、2回の練習の後、本展初日に日用品等を使って音を出すパフォーマンスをおこなった。また、日常をテーマにした映像、写真、フォトブック、ドローイングを制作したほか、福岡・九州のサウンド系アーティストと2日間の即興ライブをおこなった。
- ・即興ライブ：「UNsembles」①
(出演者：アンジー・シア，サネマツアキラ，山内桂)
一般44人，あじびホール(7/4)
「UNsembles」②
(出演者：アンジー・シア，サネマツアキラ，小瀬泉，中村勇治他)
一般32人，art space tetra(7/5)
- ・ワークショップ：「エイゴでアート！アジアのアーティストとレッツ交流♪」
(第5回 It'sエイゴTIME)
親子19人(公募)，交流スタジオ(6/27)
「毎日の音」
西南学院小学校5年生71名，西南学院小学校(7/6,7/13)
「日常アンサンブル」
福岡市立三筑中学校美術部他13人，三筑中学校(7/11,7/18)
- ・トーク：「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」
30人，あじびホール(5/24)
- ・展覧会：「第14回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」
学生・子ども含む1,063人(7/25-8/10)

② ファンコグラフィック（モルディブ） 滞在期間：5月20日～7月28日

主な活動内容

- ・作品制作：福岡のファッションデザイナー天本誠司氏と共同制作した「フュージョン・プロジェクト」では、天本氏が日本とモルディブをテーマにデザインした服を福岡のモデルが着用し、ファンコグラフィックが福岡市内5か所で撮影した。このほか、一般募集したペットと飼い主17組を撮影した「ラブケミカル・プロジェクト」も実施。
- ・ワークショップ：「Portrait Photography」
シンガポール，聖なる子キリスト修道院中学校8人，

- 交流スタジオ (6/9, 6/11)
- 「アーティストとあそぶ！撮る！撮られる！」
- (「ママとこどものアートじかん」)
- 乳幼児と母親 10組, 交流スタジオ (7/10)
- 「ヘアメイク・フォトグラフィー」
- 福岡ベルエポック美容専門学校 5人, モデル 5人, 交流スタジオ(7/19)
- ・トーク：「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」
- 一般 30人, あじびホール (5/24)
- 「スタジオ訪問とトーク」
- 福岡市立和白丘中学校 2年生 229人, 交流スタジオ (7/2)
- ・展覧会：「第14回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」
- 学生・子ども含む 1,063人 (7/25-8/10)

③ ジュジュ・ユ (韓国) 滞在期間：9月16日～11月24日

主な活動内容

- ・作品制作：スーパーマーケットで売られている品々を使って、博物館に展示されるような芸術品・工芸品を制作する「スーパー・ミュージアム・プロジェクト」を実施。「博多祇園山笠」をテーマに、子供山笠の舁き山と人形4体をお菓子やその包装紙等で装飾したインスタレーション作品と写真作品を制作した。
- ・ワークショップ：「はな・ハナ・プロジェクト」
- 有田小学校 3年生 85人, あじびホール, 彫刻ラウンジ (10/16)
- ・トーク：「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」
- 30人, 交流ギャラリー(9/19)
- ・展覧会：「第14回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」
- 774人 (11/21-12/7)

④ チュンリン・ジョリーン・モク (香港) 滞在期間：9月16日～11月24日

主な活動内容

- ・作品制作：川端商店街16店舗の朝の開店時と営業中の様子を撮影した映像作品「店を見る」。そしてアクロス福岡のステップガーデンを福岡市役所庁舎から20日間定点撮影した映像インスタレーション「Shiawase no Oka(幸せの丘)」の2点を制作した。
- ・ワークショップ：「ストップモーション・アニメーションの創作体験」
- 春日市立春日北中学校1年生 141人, 春日市立春日北中学校(11/10)
- ・トーク：「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」

30人，交流ギャラリー（9/19）

・展覧会：「第14回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」

774人（11/21-12/7）

（2）研究者・学芸員等招聘事業

① ダイアナ・キャンベル・ベタンコート（米国） 滞在期間：2月15日～3月26日

主な活動内容

・調査研究：当館所蔵の作品や資料にもとづいて，南アジアの現代美術についての調査研究をおこなった。

・トーク：「あじび美術講座 2016 連続講座
南アジアの現代美術①南アジアの国際展」

39人，あじびホール（3/13）

「あじび美術講座 2016 連続講座
南アジアの現代美術②南アジアのパブリックアート」

38人，あじびホール（3/21）

（3）美術作家受入支援

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し，制作等を行うことを希望するアジアの美術作家に対して，制作活動を支援した。

① ミンストレイル・クイ・チン・チー（マレーシア） 滞在期間：2月25日～3月25日

シンガポール・ユナイテッド・オーバーシーズ銀行からの助成で来日。

主な活動内容：新作のため，1950-60年代の日本映画における女性の描かれ方について調査をおこなったほか，日本人の女性たちと映画をみて意見を交換するワークショップをおこなった。

（4）地域交流事業

① 「博多リバレイン灯明」(「第20回博多灯明ウォッチング 2015」同時開催)

10月17日

博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に，美術作家招聘事業で滞在していたジュジュ・ユ（韓国）が参加した。数千個の灯明をつかって，平和の象徴である鳩を，博多リバレイン1階のフェスタスクエアに表現した。あわせて，韓国の杖鼓（チャンゴ）と日本の琴によるミニコンサートをおこなった。

3 美術品の収集について

(1) 購入 キリ・ダレナ

「トゥンクン・ランギット」(映像) 外9点

(内訳) 絵画4点 映像5点 写真1点

合計10点

(2) 寄贈 該当なし

4 ミュージアム施策事業

(1) 「福岡ミュージアムウィーク」

5月16日～24日

①大友良英トークショー

5月23日(土)

120人, あじびホール

② ギャラリーツアー

5月18日(月), 19日(火), 21日(木), 22日(金)

40人, アジアギャラリー

③ バックヤードツアー

5月17日(日), 24日(日)

39人, バックヤード

④ アジアの絵本の読み聞かせ

5月16日(土), 17日(日), 23日(土), 24日(日)

未就学児と保護者123人, キッズコーナー

⑤滞在作家によるトーク

5月24日(日)

講師: アンジー・シェ (シンガポール), ファンコグラフィック (モルディブ)

30人, あじびホール

⑥FT5 プレイバック① ヤン・ヨンリァン《悪夢》上映会

5月16日(土)

38人, あじびホール

⑦FT5 プレイバック② アニッタ・ユー・アリ パフォーマンス記録展

5月16日(土)～24日(日)

5,686人, 彫刻ラウンジ

5 冬のおとなミュージアム

(1) 「秘密—かくす・のぞく・あばく」

平成 27 年 12 月 17 日（木）～平成 28 年 4 月 19 日（火） 102 日

三館連携企画の 2 回目。今年のテーマは「秘密—かくす・のぞく・あばく」。当館では「のぞく」を入口に、秘密の怖さを想起させる作品など 3 つのテーマに分けて紹介した。出品数 15 点。

(2) ミュージアム探偵の事件簿—消えた少女の秘密—（3 館共通クイズラリー）

平成 28 年 1 月 19 日～2 月 28 日

(3) 『ひみつ』のリレートーク

平成 28 年 3 月 5 日（土） 1 日

鬼本佳代子主任学芸主事（美術館），中尾智路学芸員 15 人

(4) 『ひみつ』の 3 館めぐり

平成 28 年 1 月 23 日（土） 1 日

鬼本佳代子主任学芸主事，杉山美奈子主任学芸主事，中尾智路学芸員，平井係長 20 人

(5) カクテルナイト 2016（主催：福岡よる旅プロジェクト実行委員会）

平成 28 年 3 月 26 日（土） 1 日

夜の美術館において担当学芸員によるギャラリートーク，カクテルの試飲，弦楽コンサート等が楽しめるイベントを開催。

中尾智路学芸員 45 人

6 その他

(1) 所蔵品貸出

① 「モダン百花繚乱—大分世界美術展」

大分県立美術館

平成 27 年 4 月 24 日～7 月 20 日

1 点貸出

② 「シンガポール国立美術館 開館記念展」

シンガポール国立美術館

平成 27 年 11 月 24 日～平成 29 年 9 月 30 日

36 点貸出（映像資料 1 点貸出）※うち 1 点は平成 28 年 9 月 30 日まで

③ 「郭徳俊の時代」

ギャラリー現代（ソウル）

平成 27 年 4 月 29 日～5 月 31 日

5 点貸出

④ 「ディン・Q・レ展：明日への記憶」

森美術館，広島市現代美術館

平成 27 年 7 月 25 日～10 月 12 日（森美術館）

平成 28 年 3 月 19 日～5 月 15 日（広島市現代美術館）

1 点貸出

⑤ 「よこはま若葉町多文化映画祭 2015」

シネマ・ジャック&ベティ（横浜）

平成 27 年 8 月 22 日～30 日 ※上映日は 8 月 23 日，24 日のみ

7 点貸出

(2) 教育普及

① スクールプログラム等による団体見学受入

小学校 12 校 631 人

中学校 12 校 670 人

高等学校 2 校 213 人

② 職場体験学習等受入

中学校 11 校 49 人

(3) ボランティア

グループ別延べ人数（一人が複数のグループで活動可）（平成 27 年 4 月現在）

グループ	活動内容	計
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	68
図書資料	図書資料の整理・修理，配架	64
学芸資料	新聞記事のスクラップ，学芸関連使用の整理補助	52
展覧会情報	展覧会のチラシの整理，雑誌掲載記事の整理	21
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	29
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	30
活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信，研修や親睦会の企画	14
交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	222
	延べ人数	500
	ボランティア登録者数	222